

第1回 昭島市男女共同参画推進委員会

議 事 要 旨

〔日 時〕 令和4年7月1日（金）18：30～20：30

〔場 所〕 アキシマエンス校舎棟 201会議室

〔出席者〕

1 委員

柴田邦臣委員長、掛川亜季副委員長、岡部操委員、若林とき子委員、小林美和委員、長谷部高史委員、牧野愛子委員、向井翔兵委員

2 事務局

滝瀬子ども家庭部長、渡辺女性活躍支援担当課長、渡邊男女共同参画センター担当係長

3 傍聴者 0名

〔配布資料〕

- 1 昭島市男女共同参画推進委員会要綱
- 2 昭島市男女共同参画推進委員会委員名簿
- 3 昭島市男女共同参画推進委員会今後のスケジュール
- 4 昭島市男女共同参画プラン 令和3年度進捗状況報告書【事前配布】
- 5 昭島市男女共同参画プラン モニタリング調査一覧【事前配布】
- 6 令和3年度進捗状況 目標Ⅰ～Ⅳごとの担当部課の評価内訳
- 7 昭島市男女共同参画推進委員会評価基準
- 8 昭島市男女共同参画プラン令和2年度進捗状況報告書のご質問等について

〔議事要旨〕

1 開会

子ども家庭部長より開会の挨拶

資料の確認、2年間のスケジュールの説明

委員の自己紹介

2 議題

(1) 男女共同参画プラン令和3年度進捗状況調査結果について

◇事務局より男女共同参画プランの説明

このプランは、男女共同参画社会の実現及び女性の活躍推進並びにSDGsの目標達成に向けた施策の積極的な展開を進めながら、配偶者等からの暴力（DV）等の被害や性暴力等の根絶に向けての施策を推進する。そのための行動計画として、「昭島市女性活躍推進計画」、「昭島市配偶者暴力対策基本計画」を包含する、新たな「昭島市男女共同参画プラン」となっており、市の基本的な考え方と施策を総合的、計画的に推進するための事業計画であり、令和3年度から令和12年度の10年間のプランとして策定されている。本計画は4つの基本目標を掲げており、目標ごとに具体的な主要施策・主要事業を位置付け、計画の推進を

図っている。計画の推進に当たり、目標・指標を掲げ、令和12年度の最終年次の目標達成に向けて施策展開を図るものである。この男女共同参画推進委員会では年次評価をしていただくものである。

令和3年度進捗状況調査結果の説明

◇資料4 報告書は、事業を実施している担当各課に進捗状況を調査し、回答を集計した資料である。

【区分】欄は、令和3年度に新たに始めた取組を【新規】、前年度から発展させた取組を【充実】、前年度と同じ取組を【継続】として記載。

【取組の内容】欄は、令和3年度に実施した事業について、事業内容等を記載。

【取組の狙い】欄は、事業を行なった目的等を具体的に記載。

【担当課評価】は、a＝十分である、b＝概ね十分である、c＝ある程度の成果（関連）はあったが未だ課題が残る、d＝不十分であるとし、該当事業が有効であったか記載。

【評価の理由・事業の効果】欄については、事業について、「担当課評価」欄になぜa～dを選んだのか、評価理由と事業の効果を記載。

【課題と今後の予定】欄は、事業について、取組の課題を明らかにするとともに、今後、課題にどのように対応するのか記載。

主要施策の右側には、【担当課評価の点数合計】があり、資料4の最終ページに記載し、担当課評価 a→3点、b→2点、c→1点、d→0点で数値化。

【委員会の評価】欄は、資料7を基準として、推進委員会での評価を優、良、可、不可で評価していただく形となる。

◇資料2 目標Ⅰの1 男女共同参画に関する理解の促進と意識の醸成は、今期の男女共同参画プランの重点施策になっている。

男女共同参画に関する理解の促進に向けた情報提供・啓発の推進は庁内外ともに事業が進められており、その中でもNo.3の秘書課は新規事業として、人権週間中、市の全職員に向け人権啓発通信を発行し、日頃の業務においても人権尊重を心がけるよう、啓発している。

No.4「SDGs等国際的視点の反映と多文化共生の推進」についての外国人への情報提供はどの課も多言語のパンフレット等の配布による情報提供が取組内容となっている。

目標Ⅰ-2 人権・男女平等に関する教育・啓発ではNo.11、12 市民会館・公民館や女性活躍支援担当が開催したセミナーでは女性男性ともに参加があり、男女共同、そして男性が参加しやすい講座により啓発を進めている。

目標Ⅰ-3 多様性への理解の促進は、今回の男女共同参画プランで新規に組み込んだ分野であり、性の多様性についての情報提供・啓発活動の促進、性的マイノリティに対する相談体制・支援の充実では、指導課での教職員への情報提供、啓発が行われている。

目標Ⅱは女性活躍とワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進も今回のプランで新規に組み込んだ分野であり、目標Ⅱ-4あらゆる分野における女性活躍の推進は重点施策になっており、各部署で啓発に関する情報提供や、講座開催、相談体制を充実させている。

No.21 職員課では、市職員管理職における女性の割合が24.3%となっており、令和7年度までの目標20.0%を既に達成している。

目標Ⅱ-5 働く場におけるワークライフバランスの実現では、こちらもNo.28 職員課において、イクメンパンフレットの利用や、該当者への直接の声掛けで育児休業取得率は78.9%となっている。

目標Ⅱ-6 家庭生活におけるワークライフバランスの実現では、No.32 子ども子育て支援課での情報提供を

充実させ、多くの子育て世帯に活用されている冊子は発行部数を増やしている。

また、No.36 市民会館・公民館のセミナーで介護から考える助け合いのまちづくりの参加は男性 11 人を含む 21 人の参加となり、男女共同でワークライフバランスの実現に繋がるものとなっている。

◇昭島市男女共同参画プラン モニタリング調査一覧について説明申し上げる。

モニタリング調査については、今プラン策定に係る審議会委員のご意見から、毎年の活動状況が数字で確認できるようモニタリング項目を設定することとなったものである。

目標Ⅰ 多様性を認め合い、すべての人が尊厳をもって暮らすことができる意識づくりでは令和元年時点で実施されていない施策が新たに盛り込まれ実施されている項目が増加している。

②外国語版市民便利帳の配布数については、令和4年度から配布数を把握しているとの連絡を受けている。

目標Ⅱ 女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進では、先ほどもご報告させていただいたとおり、市職員管理職における女性の割合が24.3%となっており、令和7年度までの目標20.0%を既に達成している。産業活性課では労働セミナーは3回開催されているが、ワークライフバランスのテーマではなかったということで、0回となっている。女性活躍支援担当課においても情報誌Hi, あきしまでの啓発を実施したものの、講座等の開催には至らなかったため、今後検討していきたいと考えている。

◇資料6 目標ⅠとⅡの担当部課の評価内訳について、こちらは資料4の男女共同参画プラン令和3年度進捗状況報告書の担当課評価欄にある評価内訳について集計した資料となっている。

目標Ⅰはa・b評価の合計は83.8%、c・d評価の合計は16.2%となっており、多様性への理解の促進についての評価が低くなった。また、目標Ⅱ女性活躍とワークライフバランスの推進のa・b評価の合計は100%であった。説明は以上となるが、今回、資料の送付が遅くなり、本日は目標ⅠとⅡの審議の予定だが、後日ご意見は、事務局にメール等でご連絡いただき、第2回の委員会で補足してご審議いただく予定である。

委員長より

☆一番重要となるのは資料4の令和3年度進捗状況報告書である。目標が大目標として4つの柱がある。本日はこの目標ⅠとⅡを審議したい。施策の方向が中目標となる。この横にある目標指標はプラン策定時に設定されたものであり、中間の令和7年と最終年の12年に目標値が作られている。小目標が主要施策であり重要である担当課により自己評価が厳しかったり、甘かったりと思うので、委員からのご意見をいただければ良い。それぞれの事業にコメントをいただき、優良可を委員が考え、それを委員会で述べていただく。皆さんの意見の中で一番多数の評価を委員会の評価とし、合議で決める、そのようなスタイルで委員会を進めていく。【柴田委員長】

☆モニタリング調査の値はなにを示すのか。これは参画プランに入っているのか。どういう位置付けになっているのだろうか。【柴田委員長】

◇男女参画プラン策定時の審議会委員から1年毎に数字で表せるような目標を作ってはいかがというご意見をいただいた経過がある。そのため、男女共同参画プランの87ページに記載しており、プラン策定時に目標・指標とは別建てで、モニタリング項目を設定した。わかりやすいと思うので参考にさせていただき、数字等を見ながら施策がどのように進んでいるか確認していただきたい。【事務局】

☆プランの目標・指標の値は5年ごとのため、私たちの任期の2年間はモニタリング調査の値を元に審議を進めていく。聞きたいデータや数値があれば事前に事務局に7月末までに伝えていただきたい。【柴田委員長】

◇プランP46に施策体系が掲載されているため、そちらも参考にさせていただきたい。【事務局】

目標 I 1 男女共同参画に関する理解の促進と意識の醸成

①男女共同参画に関する理解の促進に向けた情報提供・啓発の推進

②SDGs 等国際的視点の反映と多文化共生の推進

③関係法令・制度に関する情報提供及び制度・慣行の見直しに向けた啓発・情報提供

④固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進

◆評価：①優②良③可④良

目標指標にあるSDGsの認知度がプラン策定時と目標値の30.0%はかなり乖離しているので、どのように認知度を高めていくのかが大きなところであると思う。SDGsとは何か、ということから広めていかなければならず、言葉が一人歩きしている。持続可能な開発目標は実際は何を指すのかという事は、体感として広まっていないような感じを受ける。そこをどうやって広めるのかが大きな課題と思っている。

① No.1.2の講演会に関して、今回参加者が多かったのは知名度が高い講師だったためだと思う。そのような講師ばかり呼べないと思うので、興味を持ってもらいやすいテーマにする等の工夫が参加者増のためには必要である。SDGsのような硬めのテーマについては難しいが、今後の講演会について講師選定のアイデアを出していければ良いと思う。

②コロナ禍で活動を制限されている中では、よくやっていると思っている。広報活動や多言語対応等は数年前に比べれば大幅に改善されていると思っているが、多言語対応は翻訳機器等も使いながら進めてほしい。SDGsについては比較的新しい施策なので今後の発展に期待する。女性活躍支援担当の外国人の相談を実施と記載されているが、件数的にどの位来ているのか。【長谷部委員】

◇件数は今手元にないが、実際に離婚等の悩みごと相談が来ている。また、自立支援について相談が来た場合、ひとり親支援担当が対応している。【事務局】

◆以前は外国人の相談がほぼ0件で、案件が無いとのことであったが、相談があるという事は、周知されて来ていると思うので、引き続き力を入れていただきたい。

③内容的に積極的に行うことは難しいと思うが、受け身でない積極的な活動を進めてほしい。

④「Hi, あきしま」の記事作りで男女共同参画を意識し、編集にも気を付けていることが分かる。No.8はマスメディア以外のメディア・リテラシーが重要になってくると思うので、これから子ども達は、テレビ、新聞から情報を受け取らなくなるであろう、その分オンラインメディアに対するメディア・リテラシーにフォーカスが必要になってくると思う。【長谷部委員】

◆評価：①優②可③良④良

①これだけの多くのイベントを行っているとのことなので、良いのではないかな。

②10年間の計画として見た中で、この取組をaにするのはどうなのかなと思う。また、発信が少ないのではないかな、全体的な人数からいうと少ないと思う。

③コロナ禍で実施しているので、どのくらいの人が見たか分からないが、パネル展を開催しているので「良」で良いと思う。

④取り組みが細かくなされていると思う。【小林委員】

◆評価：①良②良 ③可④良

①No.1 各種セミナーを開催されていることを認識したが、セミナーのアンケート等の評価をいただいて活かしているのか疑問に思った。No.2 男性が参加しやすい日程を工夫することであるが、職種によって違う場合や家の用事で参加できない等もあると思うので、曜日を検討するだけではなく、オンラインでの受講やバックアップをとり後日視聴できるしくみを実施すると、様々な状況の方が参加でき、受講者も増

えると思うので、市民の立場から検討してもらいたい。【向井委員】

◇昨年度の「家族のトリセツ」では著名な方でもあったので、参加者も多く、アンケートでも「興味深く聞けたという」ご意見をいただきました。オンライン視聴を今回初めて実施し、場所を選ばず自宅で聞けて良かったと感想をいただいている。バックアップでの配信については著名な方のため許容いただけなかった。【事務局】

②多言語対応やホームページ等広報展開を色々よくやっていると思う。しかしホームページで必要な部分を探していくと見つけられず、トップページに戻り検索することがある。外国人の方々の場合尚更、デジタルから情報を取ることが難しいのではないかと思うので、コロナ禍ではあるが引き続き窓口での促進が必要ではないかと思う。余談ですが、多摩地域で役立つポータルサイトというタマイーブックスで「昭島市」を検索できない。ひらがなで「あきしまし」で登録されているため、知らない人は読むことができない。昭島を知ろうとする人に情報が届かないのは残念である。技術的にどうか分からないが漢字でもひらがなでも検索できるようになればと要望させていただく。

③テーマが難しいと思う。男女参画自体が難しいところにあって、法令の周知ということで、広報の配布とホームページの掲載ということで、アナログとデジタルの双方の活用は良いと思うが、だれに対してどのように行うのかという取組内容が抽象的なので「可」としたい。

④男女共同参画ルームに配架しても、ルームに来るのは意識がある方だと思うので、違う目的の人が来る色々なところで目に付くようにした方が良いと思う。メディア・リテラシーについても発信方法に工夫した方が良いと思われる。若年層へはデジタル媒体を利用し、アナログ広報はデジタルに手が届かない層へと、分けて行くと限られた予算内で効果的な広報ができると感じられる。【向井委員】

◆評価：①優②良③良④良

①コロナ禍の中でこれだけ実施しているので、優で良いのではないか。テーマによって参加人数に大きな差があるが、当初想定していた定員は何名位だったのか。【牧野委員】

○「家族のトリセツ」80人定員、54人の参加・「がんと心のケア」15人定員、7人参加・「生理の貧困」15人定員、4人参加であった。予算的にも講演会には多めの予算を付け、セミナーは当初から規模を小さく設定している。【事務局】

◆そう考えるとコロナ禍でもあり7~8割の参加であれば、良いのではないか。今後も10~15名の小さな規模でのフレキシブルに動ける講座も良いと思われる。【牧野委員】

②体感として、市内に外国の方が増えている印象があるが、外国人の人数は分かるでしょうか。【牧野委員】

○調べてお伝えする。【事務局】

◆記載してある担当課評価や今後の予定等からみて良にしたい。

③我々にはわかりにくい部分であるため、取組状況等で評価したい。

④課題はあるが限られた人数や予算の中で、課題が無いわけではないが、「Hi, あきしま」なども充実しており、現時点でできることはやっていると思う。

◆評価：①優②良③良④良

①講座等を実施していることを知らなかった。参加人数が少ないと感じたが、定員から見れば少ない参加数とは言えないと思う。初めての職員の研修等も良いと思う。色々実施している。

② 全てのパンフレット等は外国語版があるのか。【若林委員】

○女性活躍支援担当で言えば、配偶者間暴力が増えてきており、外国の方々にも情報提供をするためにいくつかの言語のパンフレットを設置している。【事務局】

◆様々な情報を外国の人はどのようにして得ているのだろうかと心配していたので、このような対応をしているのであれば、良とする。

③分かりづらく評価が難しいが、報告書を見て、色々取り組んでいることが分かった。

④「Hi, あきしま」やホームページで取り組んでいて良いと思う。

◆評価：①優②良③良④良

①主要施策が情報提供と意識の醸成という事で担当課評価もaが多く、良いかと思う。ただ、報告書に記載がないが講座のあとにはアンケートを取っていると思うので、それを生かすPDCAサイクルを進めてより良い物を目指してほしい。

②SDGsについて情報提供を担当課はよくやっていると思う。教育委員会でもSDGsに基づいた授業展開ということで学校でも取り組んでいる。実際のところ、言葉が先行し市民の方々のベースのしっかりした理解が伴っているかが気になる場所である。外国籍の児童等に対し、以前はその国の言語が話せる方を探してご協力いただいたが、随分前から翻訳機を市が手配しそれを利用しすぐに会話が出来ているので、良い状況にはなっている。現在はウクライナの方も昭島市で受け入れており、率先してそのような対応をしており非常に良いと思う。

③人権パネル展など学校も提出しているので見ているが、よくやっていると思う。

④市の擁護委員が人権の花といって花を植えたり、シールを貼り、広報での周知を予定しており、現場からもやっていると実感している。指導課でも人権プログラムということで教員の一人一人に向けて毎年冊子を配布している。人権は女性、高齢者、子ども、いじめのほか色々あるが、全ての教育活動を人権というフィルターを通して行くと大きな問題にはならない。また、何かあっても初期対応ができる。しっかりとできていると思われる。ただ、評価にCが一つありそこを迷ったが、他が良くできているので良としたい。

【岡部委員】

★①報告書だけではわからない部分があったが、審議して理解が進んだ。若干女性活躍支援担当の自己評価が甘いのではないかと思われる。男女共同参画の理解に向けての部分で「家族のトリセツ」以外の講座について男性が参加していないところ、市民の方々へ講座の開催の周知が足りないのではないかとということが推測される。ただ、周知が足りない分、まだ伸びしろがあるのではないかと思う。

②性質の異なるものが主要施策の項目に入ってしまったと思う。SDGsは情報提供、多文化共生と言いながら、主に各種相談支援の充実と2つ入っており、広報課企画政策課は主に相談業務、女性活躍支援担当は広報と相談、社会教育課は広報となっているため分かりづらい。

しかし、相談では多言語で対応していて素晴らしいと思う。SDGs等の情報提供についてはまだこれからという部分が多いのかと思う。また、男女共同参画もSDGsの目標に入っているので、その繋ぎの部分として考えていただきたい。

③「Hi, あきしま」はわかりやすく読みやすく作成してあり、素晴らしい。そして、実は法令等は普段の生活に関わっている。今後も分かりやすい形で記事を工夫して啓発を進めてほしい。先にもあったように世代に応じた啓発が必要である。

④広報という意味では委員の皆様のご発言のとおり、世代に応じて、若い世代への情報と中高年に向けた情報の周知ということで、中高年には「広報あきしま」は目にしやすいと思う。一方で若い世代には、新しい媒体を利用し、メディア・リテラシーを含めて引き続き啓発に力を入れてほしい。【掛川副委員長】

☆自己評価についてはそれぞれ思うところがあると思われる。また、今年度の自己評価は甘い部署が多いように感じられるので、その部分については忌憚ないご意見をいただければと思う。

委員は偶数なので意見が分かれたときには副委員長の票にて決することとする。

①は委員のご意見のとおり、参加者を増やすためのテーマの工夫やアンケートの活用、日程、オンラインの利用、周知の工夫が、より求められていくであろう。

優が5票、良が1票となっているので優とする。

②広報という部分では効率的に頑張っているのではないかということであるが、具体的にいくつか問題点も残されているのではないかということである。こちらも含めて今後実施していただきたい。

委員会としての意見は良とする。

③それぞれの委員の意見をコメントとして反映していただきたい。

④No.8はメディア・リテラシーでCが付いていた。長谷部委員のおっしゃっていたオンラインリテラシーというところで多く該当してくるので、強く意見を盛り込んでいただきたい。

①優②良③良④良とする。【柴田委員長】

目標 I 2人権・男女平等に関する教育・啓発

① 学校教育における人権・男女平等啓発

② 家庭・地域等における人権・男女平等啓発

◆評価：①良②可

①ここはとても必要などころと思っている。教育の効果は出にくい、力を入れて啓発してほしい。取組内容は教員に対することが多いが、学校教育の一環となる部活動の人権問題がここに当てはまるのか、この後のハラスメントに組み込むのかと思うが、部活動等の暴言は、未だあり、なかなか減らないようである。大人の方が熱くなり子どもを追い詰めている。その子ども達はまた成長して繰り返すという悪循環である。変わりつつはあるが、今後の部活動の外部コーチの活用で、さらにブラックボックス化し、市の啓発も届かないこと等が懸念されるのでそれを見据えて進めていくことが課題である。また、男女平等について、スポーツ分野でも広がっている。女子のサッカー部員も増えているが、女子特有の体調不良等を理解されない場合もあり、そういうアナウンスも必要である。

②質問であるが、モニタリング調査と合わせて見る際に、モニタリングの数値は0.0%であるのに、評価にaやbがついているという関連性が分からない。【長谷部委員】

◇事業は開催したが、男性の参加が無かったため、0%となった。【事務局】

◆そうであれば、a評価は甘いような気がする。しかし、**防災課実務**に女性の視点を取り入れると言うのは、以前この委員会でも提言していたので、反映されていて素晴らしい。男性の参加者がいなかったというのは非常に残念である。むしろ、このようなことは男性がよく知っているべきである。こういうセミナーをどんどん開催してほしい。防災面の**軽減対策**など面白いと思う。自己評価が甘いので可としたい。【長谷部委員】

◆評価：①良②良

①充実していて、よくできていると思う。これに関しては引き続き実施してもらえれば良いと思う。

②大勢の参加を求めているセミナーなので、その割に参加率は高いと捉えて良いのではないか。内容も引き続いて進めてもらえれば良いのではないか。【小林委員】

◆評価：①良②可

①教員への人権、男女平等の研修の実施は、とても評価できる。児童の呼び方、並び方等急速な対応を求められていることは、教員の負担が増えるので、ひずみや問題が起きないように留意してほしい。コロナ禍のオンラインの研修実施は、忙しい中有効であるので、引き続いて実施してほしい。

②No.11女性の視点から考える防災講座では自分自身の生き方を振り返るという狙いと差があるので、題名から分かるようにした方が集客ができるのでは。また、災害時こそ男性の理解が必要となるため、強く男性の参加の推進を希望する。南海トラフ地震の被害想定10年ぶりの見直しや防災面での関心も高まっている、鉄は熱いうちに打てということで、地震はいつ起こるかわからないので、広報展開を積極的にしてほしい。【向井委員】

◆評価：①良②良

①男女平等は自分たちの時より進んでいると思う。人権は難しく、また、先生の人権もあると思う。自分の子どもの中学校ではないが、保護者からの様々な要望で先生が病まれているという話も聞く。そのあたりからもまだ、課題があると思う。

②セミナーの男性の参加がないということだが、内容は良いものである。他のセミナーは男性の参加が35%あるということでもあり、「女性の視点から考える」というテーマがネックとなっていたと思う。そういう部分が課題である。【牧野委員】

◆評価：①良②良

①先生方も研修等で学んでいることが分かった。色々なセミナーも開催されている。

②「女性の視点から考える！防災講座」というタイトルは男性が参加しづらいので、男性も参加しやすいタイトルにすれば良いのでははないか。民生委員等への啓発も行われているので評価できる。【若林委員】

◆評価：①良②良

①学校は教育課程の中に人権の計画があるので、人権のテーマで研修をよく実施している。

添付資料のモニタリングでの研修会を実施したと書いているが、役所の教育委員会が開催した研修か校内研修会なのか、何を指しているのか分かるようにしていただきたい。

②新規事業があるので注目した。本日民生委員の会議に出席してきたが、欠員があったり、高齢の委員を含めて活動していただき、皆さんに敬意を表したい。このあたりも新規事業としてしっかりと実施していただいている。ただ、Cがあることが気になるが、避難所のことであれば小学校ごとに避難所運営委員会があり、コロナ禍でも防災倉庫の確認をしているので、各種団体と横のつながり、連携があれば、こういった講演会に参加があるのではないかと。一番大切なのは施策を打っても市民のニーズがあるかどうかということなので、課題と今後の予定に書いてあるが、しっかりと受け止めて実施することが必要なのではないかと。【岡部委員】

★①指導課のNo.9.10はbが付いているが、何が課題でbとなったのか。よくやっついて aでも良いのではないかと。できれば理由を伺いたい。男女平等意識をさらに進めているのは、多様な性について個別の尊重、それぞれの子どもや人格を尊重していくというのが、自然に起きてくるものであると考える。段々と時代とともに変わっていくのかと思う。

②防災講座について皆様のご意見が出ているが、一方で女性の視点から考えるという事で、意見交換型、ゼミ型で女性のみで集まる形にし、率直な意見交換をした方が最初の効果が上がるのではないかと。その場合、どういう形で実践に落とすかが課題となり、第一段階は女性のみが集まる形でも、第2段階は男性や家族を含めて参加できるような実践の防災学習会に繋げていくと、より効果が高いのではないかと。【掛川副委員】

☆①良②良としたい。

男性の参加の促進を含めて、参加者が偏りについて、題名の決定方法、横の連携の利用、実践型で実施する等いくつかのアイデアが出ましたので、よろしくお願いたします。

次回は3-① から審議いたします。【柴田委員長】

3 その他

事務連絡

◇第2回委員会は、8月26日(金)午後6時30分から201会議室にて開催。

～閉会～